

天地

ネットワーク テーブル 509号

天地シニアネットワーク 2020.7.15

TENTĪ TODAY <心に残る言葉><短信>			1
会員の広場			3
解説	新型コロナウィルスパンデミック、各国の対応と日本の問題点	佐川雄一	3
提言	<時代刺激人コラム・第313号> 『コロナ』後の日本、遅きに失してもデジタル化を	牧野義司	7
随想	英会話の楽しみ (8) 単語の並べ方のルール	伊那闊歩	
論考	中国人から見た日本人の言語表現理(17) <「まで」の表現心理>	兪彭年	12
随想	民度の高さは縄文人の時代から?	臺一郎	14
講演会	「新三木会」「奈良興福寺文化講座」		15
事務局			16

TENTĪ TODAY

馴れと気のゆるみもあってでしょうか、街中の人出が増えているようです。来週には政府肝いりの<go to トラベル>事業が始まりますが、高齢者は、慎重にならざるをえません。先日、久しぶりにJRにりましたが、車内空いていても、周りが気になりました。途中で隣に座った子供連れの中年女性、すぐに化粧を始めましたが、思わず席をかえたくりました。当分の間、遠方への旅行はもちろんのこと、近距離の外出も消極的となりそうです。国民相互間の不安解消へは、検査、検査と、検査を徹底して行っているという大前提が一番のようです。

やっと10万円の給付金が届きました。趣旨にのっとり使わないといけません。とりあえず、ターミナル駅の上階にあるレストランへいきましたが、同様の人が多いようで、食堂街は、平日の昼にもかかわらず、結構混んでいました。しかし、満杯でも、席数を減らしていますので、単価アップ無しでは利益はあまり出ないでしょう。飲食業に限らず、どの産業も同じです。日本経済の先行きに不安を感じている人は大勢います。戦略的な道筋を早くたて、はっきりとした政策を示して国民を一日でも早く安心させてもらいたいものです。

95才になる先輩女史の電話での話、白内障の手術をして鏡をみたら、皺だらけの見知らぬ人の顔が映っていて一瞬驚いたとのこと、また、サークルの老人男性には、お尻を触りに来る人もいたので油断できないと笑って(嬉しそうに?)話していました。遠方のうえ、会合もなくなりましたので今は電話ですが、いつでも会えるが、まっ

たく会えない世の中になりました。長いお付き合いの友人とは、電話、郵便などで、たまには近況を語りあいたい、と最近はつくづく思っています。やはり、声。手書きの文字には人のぬくもりがあります。

『心に残る言葉』

こだわりを捨てる(ラインホールド・ニーバー)

主よ、変えられないものを受け入れる心の静けさと、変えられるものを変える勇気と、その両方を見分ける英知をお与えください

(『愛することは許されること』渡辺和子 150頁)

廣澤敏明・牧いずみ編集 「祈りと聖書の言葉」 より

『短信』

「新三木会」 新三木会代表幹事 則松久夫

2020. 7. 5

当会も先月、創設 10 周年を迎えました。皆様の御支援、身に染みて、有難く嬉しく存じます。

6 月に、NHK衛星放送で「心の旅路」を久しぶりに視ましたが、第一次大戦末期のスペイン風邪流行の話が出てきました。原題の、Random Harvest を「手探りの収穫」と勝手に推測しましたら、Random は考え過ぎで、英国中部リヴァプール郊外の地名でした。呵々。

チップス先生さようならのジェームズ・ヒルトン原作だったこと、出演は、殆んど英国人たちですが製作は米国MGMだったこと、1948年のアカデミー賞は、監督賞マービン・ルロイ、男優賞コールマン助演女優賞は小娘役のスーザン・ピーターズ(米国)がキューリー夫人のグレア・ガースンを押しのけて獲得したこと、等々、意外な事実を改めて知りました。

「昭和記念公園」 yaku5151・小泉

2020. 7. 4受信

こんばんは。お変わりなくお過ごしのことと思います。

またまた東京都の感染者数が凄くなってきましたが、選挙中で何も打つ手は・？自粛が長かったので運動不足、好天に誘われて昭和記念公園を歩いてきました。人影も超少なくマスクも敢えて外し、美味しい空気を胸いっぱい吸い込んで……。レストランはまだ休業中も、その売店の「おいなりさん」の美味しかったこと！！大きな花はありませんでしたが、小さく可愛い花々が見られ、気分爽快に！久々に楽しく動画を作った気分にもなれました。

昭和記念公園-1

<https://youtu.be/VSEnKJ8kpe8>

昭和記念公園-2 少し手間はかかりましたが変化のある動画に

<https://youtu.be/4Kk-2zjPzGY>

会員の広場

2020年7月5日

新型コロナウイルスパンデミック 各国の対応と日本の問題点

佐川雄一

はじめに

新型コロナウイルスが2019年12月、中国湖北省武漢で発生してから6カ月が過ぎた。新型コロナはコウモリが起源だとほぼ特定されている。人に直接うつしたのか、別の動物を経由して人に感染するようになったのか定かでない。中国では今も小動物を養殖する産業が存在し多くの人がかかわっているため中国政府は当該産業の即時停止に踏み切ることができないようである。人間社会は自然を破壊し自然の最深部に立ち入る行為を常態化しているためウイルスとの接触機会は今後益々増大するだろう。他方、ウイルスは環境に合わせ変異し強靱になるため、新型コロナウイルスの危機が収束しても次の危機は常に存在する。

発生したウイルスの拡散阻止に迅速な対策が求められるが、その成否の鍵を握るのは、①政治・科学の協働、②医療インフラの整備、③過去の経験に学ぶ、④国民に対する事実の開示にあると考える。

新型コロナウイルスは中国からアジア、欧州、北米へと瞬く間に広がり、感染者が北半球全般に拡大した。その後、ロシア・南アジア、そして季節が冬場に入る南半球（南米、アフリカ）に伝播し、南極大陸を除く地球全土を席卷した。

地球市民は新型コロナウイルスのパンデミックに陥り、多くが感染、そして一部の人は尊い命を落とした。被害の深刻さは、人々の健康・安全・生命のみならず経済・社会・文化・教育の領域にも及んでいる。経済的被害はけた外れな規模に拡大しつつある。

ここで新型コロナウイルスについて簡単に説明しておきたい。私は専門知識を有しないので、河田昌東氏レポート「新型コロナ・パンデミックの生物学的考察」（2020年5月10日）の一部を引用する。

『今問題になっている新型コロナ（SARS-CoV-2, β 型ウイルス）はヒトの呼吸器や咽頭や肺、消化管の表面の粘膜細胞に感染する。その結果、感染すると肺炎になる。或いは下痢を伴う症状が出る。マスクでは肺炎の感染対策にマスクや手洗いばかり勧められるが、人の便や尿にもウイルスが存在し、トイレや下水道が感染拡大の原因であることが分かってきた。今回の新型コロナウイルスは、2002年に中国広東省で発生、大流行したSARS（重症急性呼吸器性症候群）と、その10年後、2012年、サウジアラビアやアラブ首長国連邦で発生したMERS（中東呼吸器症候群）の延長線上にあることは明らかである。』

SARS, MERSは感染地域が限定され、死者数はSARS 813人, MERS 858人と比較的少なかったのに対し、新型コロナウイルスの感染は地球規模に広がり、世界の累計死者数は6月29日、50万人を超えた（日経新聞、6月29日）。人口100

万人当たりの感染者数・死者数は東アジア・アセアン・オセアニアで少なく、北中南米、欧州で多いのが特徴的である。

なぜこのような地域差が出るのか、遺伝子的な特徴によるのか専門家の結論は出ていない。日本の現状であるが、東アジア、アセアン、オセアニアにおける人口当たりの死亡者数を国別に見ると一番高い。人口 100 万人当たりの 6 月 8 日現在の死者数 (Japan Times 6 月 13 日) は日本 7 人、韓国 5 人、中国、シンガポール、マレーシア、ニュージーランド、豪州各 4 人、タイ 0.8 人、台湾 0.3 人、ベトナム 0.0 人である。

韓国・台湾は、MERS(中東呼吸器症候群)、SARS(重症急性呼吸器症候群)を経験しているので、迅速・効率的に対応する独立機関が創設されていた。一日の長があったわけである。中国は、専制国家であるが故の意思決定メカニズムのスピード・周知徹底が功を奏し、短期間でウイルスの伝播を抑え込むことができたと理解する。

1. 新型コロナウイルスで端を発した米中の確執

新型コロナウイルスを巡り米中確執がメディアを賑わしているが、中国政府による新型コロナウイルス発生の隠蔽が米国にどれほどの被害をもたらしたのか考えてみたい。

トランプ大統領は、中国政府が新型コロナウイルス発生の事実を隠蔽せず、遅滞なく国際社会に報告していれば、米国の被害は軽減されたと中国の情報隠蔽を厳しく非難している。しかし、トランプ氏は、1 月の時点では中国政府の迅速なコロナ対策を賞賛する発言をしている。中国政府に対する批判を強めていくのは米国内での感染が広がり始める 3 月になってからである。

情報開示の遅れが米国にどれだけの被害をもたらしたのか！少なくともトランプ大統領の 1 月～2 月にかけての発言から判断する限り米国が受けた被害は軽微であったと考える。

このころのトランプ氏の発言をいくつかを引用する。1 月 22 日、コロナウイルスについて初めて国民に語った言葉がある。

「心配することはない。ウイルスはコントロールされている(Not at all. We have it totally under control)」(TIME, 3 月 30 日)、

「米国政府が中国からの旅行者の入国禁止を発令した(2 月 2 日)お蔭で、米国はウイルス感染の爆発的拡散を阻止することができた」(President Trump has frequently claimed that a ban on travelers from China prevented the epidemic from becoming much worse)。

又、2 月 10 日 (BBC)には、「専門家は、暑さが戻る 4 月ころにはウイルスの脅威はなくなると言っている。現在の米国の感染者 12 人か 11 人に過ぎない。その内の大部分は健康状態も良好である」(Other people think it goes away in April as heat comes in. We have 12 or 11 cases and most of them are in good shape)。米国にパンデミックが襲ったのは 3 月、その頃からトランプ氏の WHO、中国批判が加速する。

2. トランプ政権が糾弾する WHO と中国の癒着について

トランプ大統領は、「WHO が中国政府とくんで国際社会への情報開示を意図的に遅らせた(U.S. President has blasted in recent weeks for allegedly colluding with Beijing to hide the extent of the coronavirus)」(Japan Times、6月5日)とする WHO・中国政府の「情報隠蔽工作」(collusion)であるが、中国政府との交信記録を WHO から入手した AP(Associated Press) が Japan Times (6月5日)に両者の交渉経過を紹介しているので一部を引用する。

『1月中、WHO は、中国政府が遅滞なく情報を開示してくれたことに謝意を表し、中国のウイルス対策について称賛の言葉を発し続けた。この謝意は心から出たものだったのか？ 実態は、WHO が求める情報を中国政府は迅速に開示することはなかった。情報の開示が遅れ、或る時は、CCTV(国営メディア)が視聴者に向けた発表 15 分前、WHO に開示されたこともあった。

現下の中国政府との交渉スタイルではどこかで息詰まると危機感を持った WHO 幹部の一人マイケル・ライアン氏は、1月中旬頃、中国を褒め称える戦略を変え、圧力をかける方針に切り替えた。それでもテドロス事務局長は、中国を防御する言葉を繰り返していたが、中国との付き合い方については WHO 内でも意見が割れていた。WHO が最も必要とした感染者・重症患者に関する日々の病状変化の資料であったが、中国政府のインプットは不十分、WHO は独自の調査を行う方針を固めていた。当事国に情報開示を求める法執行力を持たない WHO(国際連合の下部機関)は、相手国の機嫌を損なわない、特に超大国：中国に対しては時に卑屈な態度を採ることがあった。』

しかし、この頃から、新型ウイルスの情報は海外のメディア、外国政府機関が独自に調査を行いメディアに流れるようになり中国当局者に緊張が走った。1月8日には Wall Street Journal が『1月2日ウイルスのゲノムが中国国立研究所で分析され、5日には新型ウイルスが SARS と似ている、感染経路も似ていることを確認、武漢に入院している肺炎患者のウイルス採取で新たなコロナウイルスであることが確認された』と報道、13日には WHO が『タイで感染者が見つかった』と発表した。それでも中国政府の情報開示は遅れに遅れ WHO がそれなりの情報を収集して世界に新型コロナウイルス関連肺炎を「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」と宣言できたのは1月30日にずれ込んだ。

新型コロナウイルスについての核心情報を適時適切に得られなければ WHO は新型コロナウイルス戦略を立てることもできず、WHO が焦燥の色を見せる姿が AP のレポートから明らかになる。

3. 科学者集団も判断ミスをすることがある

新型コロナウイルスは、発生後の変異もあり、科学者にとって未知の領域が多い。そのような環境の下で国家戦略・戦術を的確に立案・実行に移し、成功を収めるのは至難である。国家・地域社会が直面した問題：二例を紹介する。

スエーデンの例：

スエーデンは国家非常事態宣言を発令せず都市封鎖にも踏み切らなかった珍しい国である。限定的ではあるが社会・経済活動に国民の自由を担保した。バーモレストランも営業を続け、小中学校も閉鎖することはなかった。お蔭で両親は職場で働くことができた。

なぜ、都市封鎖にも踏み切らなかったのか。政府と専門家は数か月の間に市民に集団免疫が整うと期待していた。そうなれば次のパンデミック(第2波の襲来)が起きても、感染者は大幅に減少すると目論んだのである。政府は、戦略を定め、明確な目標を持って新型コロナウイルス対策に挑んだが、第1段階の戦略は明らかに間違った。

New York Times (5月30-31日)によれば、ストックホルム市の集団免疫率は7.1%に過ぎなかった。集団免疫は、国民の60-70%に抗体ができることが前提になるが、スエーデン政府の目論見は外れた。集団免疫率は、激しい感染の嵐に見舞われた。ニューヨーク市でも19.9%(5月2日)、ロンドン市は17.5%(5月21日)であった。

米国の感染症学第一人者；アンソニー・ファウチ博士は、集団免疫について以下のように定義している(TIME, 5月1日)。

『集団免疫を創る方法はふたつある。一つは、十分な数の市民が免疫力を備え、各人が感染を防げる身体を創る。もう一つは、ワクチンが開発され、誰もがアクセスできる環境を作ることである。集団免疫の完成形は、97%の効果が期待できるワクチンを大量に商用化することである。』そして科学者の仕事は、『証拠と科学を基にしたアドバイスを国民に与えることである。』

スエーデンの初期判断は証拠軽視であったと考える。もう一点、政府が予測できなかったことがある。

スエーデンには老人介護施設が多く、老人の多くは施設で老後を過ごす習わしになっている。その施設がパンデミックの間も外部に完全に解放され、家族は自由に施設を訪問することができた。政府は施設で働く職員がそれなりの配慮をして危機を乗り越えたと考えていたが、結果的には多数の老人が感染し死亡した。この点については残された家族から政府に厳しい批判が出ている

国民の大多数の了解を得た政府決断であったが少なくとも第1波のウイルス襲撃に対し市民の犠牲を抑えることはできなかった。

米国ワシントン州

3月初旬ワシントン州で爆発的なウイルスの感染拡大が起こった。New York Times (May 29)の記事を参考にして説明する。

当初、ワシントン州は1月中旬同州を訪れた中国からの旅行者が持ち込んだウイルス(WA1)が同州で感染爆発を起こしたと考えていた。その後の調査で、州内の感染拡大を起こしたウイルスは、2月13日前後、中国からの別の旅行者が持ち込んだウイルス(WA2)であることが判明した。ウイルス(WA2)が州内で2週間ほど潜伏、2月下旬、感染拡大が始まった。

WA2はWA1が遺伝子変異を起こしたものと推定される。初期段階で本件の調査にかかわったワシントン大学遺伝子学者；ロバート ベッドフォード氏は、「ワシントン州で爆発的に感染拡大したウイルスは当初WA1と認定したが、この分析は間違っていた。正しくはWA2であった」と自らの判断を取り消した。最初に持ち込まれたウ

イルス(WA1)は同州の感染爆発につながらなかったことが明らかになった。WA1とWA2では治療方法が少し異なったのではないか。

ここに危機対策の難しさがあり、専門家も時にして誤った判断をする事例である。各国の研究所が、隔離された人と入院患者が感染したウイルスのタイプ、日々の病状の推移の実態を必死になって求める背景には、十分なるデータが揃えばより適切な診断・治療が施せると考えているからである。1月、WHOが中国政府にウイルスの実態、患者の病状変化についての情報を必死に求めた背景にはこのような事情があつてのことである。
(つづく)

<時代刺激人コラム・第313号> 2020年7月5日

「コロナ」後の日本、遅きに失してもデジタル化を

牧野義司

新型コロナウイルス感染リスクが依然収まらず不安定な状況が続く、鬱屈(うつくつ)とした気分が続く中で最近、日本を思わず元気にする話が飛び込んできた。理化学研究所の新型スーパーコンピューター「富岳」が計算速度で世界一の座を9年ぶりに取り戻しただけでなく、AI(人工知能)開発向け計算性能など3つの分野でも米国や中国を寄せ付けない力量を発揮、世界初の4冠になった、という。実に素晴らしい。快挙だ。

スパコン世界一と対照的な自治体オンライン問題

ところが、このスパコンとは対照的な、目を覆う現実が同じ日本のコロナ対応に苦しむ現場で進行していた。コロナ危機対策として政府が実施した国民への一律10万円の「特別定額給付金」に関して、業務を担う多くの自治体でオンライン対応が機能しないのだ。やむなく自治体は郵送で対応、それでも給付金を手にしていない国民の数がかなりにのぼるといふ。政府緊急事態宣言が5月25日に解除されて以降もこの状況だから深刻だ。

専門家の話では、オンライン申請に活用予定だったマイナンバーカード専用ポータルサイト「マイナポータル」への接続手続きが自治体で十分にできていなかったことに加え、マイナンバーカード取得のための駆け込み登録が相次ぎ、事態の混乱に拍車をかけた。そのマイナンバー普及率が日本全体で依然16%程度という。何ともお粗末な話だ。

デジタル化が進む米国は違った。コロナ危機の緊急経済対策として、所得制限を設けて成人の大人に最大1200ドル(円換算12万円)が現金給付されたが、大統領令署名から約2週間で、内国歳入庁から確定申告する納税者の銀行口座に振り込まれた、という。低所得層には小切手送付の道もとられたそうだが、いずれも日本に比べ格段のスピード差だ。

「世界最先端 IT 国家創造宣言」はどこへ行った？

霞が関の行政官庁も似たような問題を抱えている。政府は 20 年前の 2000 年に高度情報通信ネットワーク社会形成基本法をつくり、IT 戦略本部（首相が本部長）を設置した。その後「世界最先端 IT 国家創造宣言」も行った。しかしシンクタンクの日本総研が行政手続きデジタル化の実態を調べたところ、2019 年時点で政府全体 5 万 5765 件の行政手続きのうちオンライン対応が出来ていたのはわずか 7.5% の 4164 件だった、という。

聞けば、霞が関の省庁間で互いの「省益」を優先する古い体質が続き、この 20 年間、デジタル化、オンライン化のヨコ連携が進まなかったため、「デジタルガバメント」は絵に描いた餅に終わっている、という。

駐日エストニア大使館関係者から聞いた話では、エストニアのデジタル政府先行モデル事例を見ようと日本からの官民視察団が多いそうだ。だが、学習しても活かそうという考えが日本にはない。まさに「デジタル後進国日本」だ。

コロナが「茹でガエル」日本を飛び上がらせるか

このデジタル化の遅れは官だけの話でない。民の世界でも起きている。かねてから「日本はイノベーションも起こせないぬるま湯の茹でガエル状態」と危機意識を強める三菱ケミカルホールディングス会長の小林喜光さんが最近、次のように述べた。「私は、日本が『茹でガエル』状態にあり、カエルをぬるま湯から飛び上がらせるヘビが必要だと言いつけてきた。しかし今回、日本を飛び上がらせたのはヘビでなく新型コロナウイルスだった」と。

小林さんは現在、政府の規制改革推進会議の議長に就任したこともあり「今、日本は大変な危機だ。デジタル化推進への改革機会と捉え、乗り越えることが今後につながる。ポストコロナの社会を見据え、デジタル時代をにらむ制度改革の方向性を打ち出したい」と。新型コロナは憎いが、この際「茹でガエル」日本を飛び上がらせることを期待したい。

デジタル化は経済社会システム改革のカギ

このデジタル化に関しては「データ・ドリブン・エコノミー」（ダイヤモンド社刊）の著作で有名な東大大学院工学系研究科の森川博之教授が、米経営学者ピーター・ドラッカーさんの「蒸気機関車が鉄道の登場を促し、鉄道というインフラ整備があらゆる産業の変革を促した」という言葉を引き合いに、「ICT(情報通信技術)がインターネット、スマートフォン、クラウド、センサーなどの登場を促し、これらの普及が新たな産業や社会制度の登場につながった」と述べている。まさに経済社会のシステム改革のカギを握るツールだ。

もちろん、デジタル経済社会化がバラ色の未来を約束するわけでない。功罪相半ばの部分がある。しかし私から見れば、間違いなく新たな社会変革をもたらす。悔しいことに米国や中国のデジタルプラットフォーマーと言われるメガ企業群の取り組みは、すごいスピードで先行している。これまでと様変わりになるポストコロナ社会を考え合わせれば、日本は遅きに失したとはいえ、デジタル経済・社会化に大きくギアチェンジをすべきだ。

医療のオンライン化は遠隔地をつなぐ必須課題

人が密集するなど「3密」による新型コロナウイルスの感染リスクをどう克服するかが社会課題になる中で、懸案だった医療のオンライン化が動き出した。病院での院内感染リスクを気にする患者がオンライン上で医師に病気診断を仰げるようになった。しかも医療インフラがない地域への遠隔治療もオンラインで可能になった。変革の第一歩だ。

これまでオンライン初診は対面診療が原則と、実施に頑なだった厚生労働省が行政姿勢を変え、コロナ危機への特例対応ということで、オンライン診療を今春から認めた。しかし日本医師会は「あくまでも特例措置。危機が過ぎ去れば、対面診療に戻すべきだ」との姿勢だ。ポストコロナ社会を見据えた変革の発想が、医療の現場にないのは残念だ。

電子カルテの共通化メリットは大きいはず

現実問題として、医療の現場での電子カルテ化は驚くほど遅れている。私の知っているある大学病院は東京都内に分散する3つほどの病院間で、患者カルテの共通・統一化が出来ておらず、紙のカルテがベースになっている。友人の医師は「インターネットで病院相互のシステムをつなぐデジタル化のメリットは間違いない。大学の経営側が設備投資負担の大きさを理由に先送りしている。残念だ」という。なぜか患者本位になっていない。

医療現場でのデジタル化はほんの一例だ。教育現場はじめ農業、漁業、モノづくりの製造業、飲食業などのサービス業、物流の現場などでヒトとモノをICTでつなぎ広範囲かつ遠隔地間でコミュニケーションを行う、またセンサーで得たデータやビジネス取引で得るデータを分析しビジネスチャンスに結び付ける――など、デジタル化のメリットは多い。

「ピンチをチャンスでなく、ピンチがチャンス」

デジタル化の光と影は間違いなくある。今回のコロナ危機をきっかけに、消費者が外出を自粛、人が密集する場での買い物を避ける傾向が強まり、ネット上でモノを買うネット通販、電子商取引が一般化し、あおりでデジタルの対極にあるリアル店舗経営が苦境に立たされつつある。しかし私は、デジタルとリアルの融合、両立は可能だと思っている。

そんな中で、アイリスオーヤマの大山健太郎会長が、あるオンラインセミナーで「ピンチをチャンスに、ではなく、今やピンチがチャンスだ」という発想でコロナ危機に対応すれば、時代を変えることは可能だ」と述べた。素晴らしい、わくわくする経営発想だ。

8. 単語の並べ方のルール

1.)

世界は現在も(2020年7月)なおコロナ禍のまっただ中にあるが、コロナとは直接かんけいなく、いろいろ禍々しい事件が起こっている。最近の英字新聞には、プラカードを掲げてデモ行進する人たちの写真つきの報道が目立つ。プラカードにはそれぞれ

Black Lives Matter

と書かれている。これは「黒人のいのちは大切である」という意味だそうで、いまやその頭文字をとってBLM movement は米国社会にいまなお根強く残る人種差別に抗議するための市民運動となっている。その新聞記事のひとつには次のように書かれている:

Thousands marched in cities around the world to support the Black Lives Matter movement, but also to highlight racism and police brutality in their own countries. (the japan times alpha 6/26、記事原文の一部省略)

(世界中の都市で数千人の人たちが、BLM運動を支持し自国の人種差別と警官の残虐行為に対する注意を喚起するために行進した)

Black Lives Matterの社会的意義はさておき、今回は英文中の単語の並べ方について考えたい。中学校から英語を習いはじめ(近頃は小学校から)ある程度英語に慣れてきて、やがて英語の長文も読み、作文もするようになってきたとき、英文の構造についていろいろ教えられるのではないだろうか。構造などというと何か専門的で難解な印象を与えるが、要するに、文章のなかでの単語やフレーズの位置とそれらの並べ方の規則のことである。言いたいことは同じなのに、英語での表現方法と日本語のそれとの違いはとんでもなく大きいと言わざるを得ない。われわれはバベルの塔崩壊(*1)以前に同じ言葉を喋っていた人たちの子孫とは到底思えない。

日本語は、主語からはじまり最後に述語が来る。一方、英語も主語からはじまるが、直後に述語(動詞)が来て、その後に目的語や補語、いろいろな修飾語(句、節なども)が続く。もし言い忘れたことがあれば、ピリオドを打つ前にどンドンつけ足すことができる。日本語の場合、動詞が最後にくるので、そこでひと区切りついてしまい、言い忘れたことをつけ足すにはまた新しい文章として提示しなければならない。英文は、シッポが長くとも頭が小さいものが好まれる。To go further was impossible.(さきすすむのは不可能であった)と書くのではなく、仮の小さな主語 it を使って

It was impossible to go further.

とするほうが自然で好ましいとされる。

(*1)旧約聖書「創世記」11:1-8

2)

英文は、動詞のタイプに従っていくつかのパターン(文型)に分類できるという。中でももっとも基本的として知られているのは、5文型と呼ばれる分類である。主語を S、動詞を V、目的語を O、補語を C、単語や文のつながりを+で表すと英文はそれがかかり複雑な構造に見えても、よく調べてみればつぎの5つのパターンのどれかに収まるというのだ(*2):

(1) S + V,

(2) S + V + C,

(3) S + V + O,

(4) S + V + O + O,

(5) S + V + O + C

日本語は述語が文末に来ること以外、語の位置や語順についてのきびしいルールがないが、そのかわり、て・に・を・は が語尾について単語間の連携をはかり、意味のある文章を作り上げていくという特徴がある。て・に・を・は があたかも膠のような役割をはたしているので言語学による分類によれば日本語は「膠着語」であるという。

ロシア語やフランス語、イタリア語などは、動詞の語尾変化によって文章の意味が決まってくるのだ。つまり、て・に・を・はをくっつける(膠着する)かわりに語尾を変化させるのだ(これを語が屈折するという)。ロシア語やフランス語、イタリア語など単語の語尾が変化する(屈折する)言語を「屈折語」という。

一方、英語にはほとんど語尾変化がない。そのかわり前置詞が他の言語にくらべて多らしい。このような言語は「孤立語」と呼ばれ、単語の位置と語順が大切で、語順によって文章の意味が決まるのだ。その結果、英語は文型を重視することになる。

日本語では、誤解されないかぎり、主語を省いて喋ることも多い。英語では主語がはぶかれることはない。Black Lives Matter の主語 S は Black Lives(黒人のいのち)、動詞 V は自動詞 Matter(大切である)であるからこの文型は S + V で文章は完結している。このような自動詞を文法書によれば完全自動詞と呼ぶらしい。同じく新聞記事のなかの Thousands marched～ も S + V である。通常は S + V だけで言いたいことを言いつくせることは稀で、そのあとに、いつ、どこで、何のために・・・というようなことを付け足したくなるであろう。それらは修飾語として後に続けるのだ。今の場合、場所を指定する修飾語(in cities around the world)につづき、何のために行進するのかという副詞句が to 不定詞(to+動詞の原形)の形をとって付け足されている。S + V だけで文章が完結しない自動詞を不完全自動詞といい、

This pen writes well.(このペンはよく書ける) This knife cuts well.(このナイフはよく切れる) This blanket feels soft.(この毛布はやわらかい)

の write, cut, feel などはずべて不完全自動詞である。やわらかく感じるのはそれを使う人間であるけれども英文はあたかも毛布がそう感じているような書き方になっている(*3)。

(*2) 綿貫陽、マーク・ピーターセン「実践ロイヤル英文法」

(*3) ちなみに be 動詞は代表的不完全自動詞なので、S + be 動詞だけでは文章は完結せず、補語 C などの付け足しが必要となり S と C は意味上同等であることを表現する。

シェクスピアの戯曲「マクベス」のなかにつぎのような 3 人の魔女の「呪文」をみつけた(「マクベス」第 1 幕第 1 場): Fair is foul, and foul is fair.(いいは悪い、わるいはいい) この呪文によって観客は、否応なくこの演劇が醸し出す世界の混沌に引きずり込まれるのだ。

フェアはファウルでファウルはフェアであるといっている。これが野球ならゲームは成立しない。and の前後の文章の構造はそれぞれ S + V + C で、S = C である。

今、日本のハンコ文化のばかばかしさについて新聞を読んでいたら Old habits die hard.(古い習慣は なかなか滅びない)という諺が頭に浮かんだ。die は自動詞、hard はなかなか～しないという意味の副詞である。ダイハードは映画のタイトルにもなった。諺には、短くて気の利いた文句が多い。

英語の文型について個別に例をあげて論じ始めれば、きりが無い。そもそも英文を 5 つのパターンに分類するのは無理である; 少なくとも 7 文型に分けなければならない、いや、それでも足りない、13 文型に分類すべきである、という(*4)。

Oxford Advanced Learner's Dictionary は動詞の使い方をなんと 32 パターンに分類しているので、この辞書を使う時には分類表を手にして調べなければならない。こんなことをいつも考えながら英語を喋るなど煩わしくてとてもできない。

文型は英文の設計図なのだ。文型を知り少しでも例文など覚えたらとにかく喋ってみること、小説や新聞など手あたり次第多読することにより文型のパターンに慣れ親しむようつとめることが重要なのだ。目的のはっきりしない作業を絶えず続けなければならないと思われるが、興味と意欲さえ失うことがなければ、いつのまにか多くの例文などが記憶に残り、会話の役にたっていることに気がつく。なお、英文パターンの最頻出例文集(*5)などもいろいろ出版されている。

(*4) 西村喜久「理屈でわかる英語 13 文型」(ペレ出版)

(*5) 伊藤太「基本の 78 パターンで英会話フレーズ 800」(丸善ジュンク堂書店)

中国人から見た日本人の言語表現心理(17)

愈 彭年

「まで」の表現心理

「当地にご足労願えれば幸いです」と「当地までご足労願えれば幸いです」、「空港に出迎えに来てくれた」と「空港まで出迎えに来てくれた」、「駅で私を見送ってくれた」

と「駅まで私を見送ってくれた」、「怪しい人物を見かけたら、すぐ警察に届けてください」と「怪しい人物をみかけたら、すぐ警察まで届けてください」、「レポートを先生に届けること」と「レポートは先生まで届けること」などはどちらがうのだろうか。つまりこの「まで」の表現心理はどういうものなのか。

「まで」には「移動動作の帰着点」を示す働きがある。従って、上の例文の「まで」のついた部分は移動して行き着く場所を示すことになる。「当地」「空港」「駅」などは言うまでもなく場所を示して、「警察」は「警察署とそのあるところ」を示し、「先生」は「先生のいるところ」を示すことになる。帰着点までの移動をするにはそれなりの労力、苦労、手数、煩労などがともなはずという発想から、それに対するねぎらい、いたわり、感謝、申し訳ないなどのさまざまな情感が「まで」に含まれているように思えてしょうがないが、どうだろうか。移動動作の帰着点を示すことは文法上の説明であり、情感が含まれていると言うのは言語表現心理の説明としたい。

文中の「まで」にどのような情感がいちばん強く含まれているかは当然その文の内容に関わってくる。「当地までご足労願えれば幸いです」には相手わざわざ出向いてくれることに感謝や申し訳ない気持ちなどが感じ取れるのではないか。もし「当地」までが遠路であった場合には情感がよけい強くなるのではないか。このような情感を「まで」から感じ取った相手はきっと喜び、気を良くするだろう。よって双方の和する気持ちがいっそう強くなる。ただの意思の疎通を図る「当地にご足労願えれば幸いです」よりは温かく聞こえると思われる。

では、「まで」に当たる言葉が中国語にあるだろうか。帰着点を示すと同時にさまざまな情感をも示す言葉は見当たらない。論理的には二つに別けて示すしかない。例文を示すと「煩您劳驾到我们这儿、那真是万幸了」となるが、「煩」と「到」の二つになってしまう。ここではこの二つがいっしょになったのが「まで」となる。

「空港まで出迎えに来てくれた」は感謝やねぎらいやいたわりなどの情感が表されている。もし空港までの道のりが遠ければその情感はさらに強くなり、感激も含まれてくる。

これを「到机场来接我了」と訳しては「空港に出迎えに来てくれた」と同時になっしまい、「まで」が含んだ情感がでていない。「特意到机场来接我」と訳してはどうだろうか。それほどぴったりはしないが、近いと思われる。

昔のことだが、外国を訪問して中国側の挨拶の中によく「感謝特意到机场来接我们」が出てくる。これを中国側の若い通訳が「わざわざ空港へ私達を迎えに来てくださり、感謝いたします」と訳すのを耳にするたびに、直訳だなと思い、「私達をわざわざ空港まで出迎えに来てくださり、感謝いたします」とすればいいのにと思った。つまり「まで」が使えないのだ。

「特意」は確かにわざわざの意味だが、ここではわざわざの意味を伝えるより主に感謝やねぎらいやいたわりなどの気持ちを伝えるために使われていると思われる。

「駅まで私を見送ってくれた」は「私を見送る」動作が駅まで続けられたことだが、感謝やねぎらいや申し訳ない気持ちなどを伝えている。

「把我送到车站」では見送りの動作が駅まで続いたことを表して論理的だが、相手への情感はいくらか伝わっていると思われる。これを日本語に訳すと、「ずっと駅まで私を見送ってくれた」ともなり、「ずっとが入ってくる。従って、「ずっと…まで」が「一直」にあたることになる。中国人にとってはこの方が理解しやすい。異なる言語表現心理の翻訳は難しい。

「怪しい人物を見かけたらすぐ警察まで届けてください」からは警察(署)が近くても遠くてもわざわざ出向いてほしいというご足労を願う気持ちを感じ取れないだろうか。

感じ取れば、「见到可疑人物，烦清到警署报告」と訳せないだろうか。やはり「煩」と「到」の二つの文字で「まで」が表されることになる。「煩」は相手に骨折りをお願いする敬語で、「到」は帰着点を示す。

「レポートを先生まで届けること」の先生は帰着点であるため、人を示すのではなく、「

先生のいる場所」を示すことになる。大学であれば、先生のいる場所とは普通は研究室になる。従って、「ただレポートを先生に届ける」だけでなく、研究室へ行ってレポートを先生に渡すということになる。この文から届ける学生が研究室へ移動する手数が感じ取れる。中国語に訳すと「要把报告送到老师那儿」となる。

これと似た文、駅のプラットフォームで良く耳にする「○番線に電車が参りますので、黄色い線の内側までお下がりください」がある。これも「お手数ですが」という気持ちが感じ取れるように思われる。

しかし、時折「○番線に電車が参りますので、黄色い線の内側にお下がりください」と聞くとときもあるが、聞き慣れたせい、か、「まで」を使った呼びかけのほうが温かく聞こえる気がする。

民度の高さは縄文人の時代から？

臺 一郎

先般、日本におけるコロナウィルスの感染者数や死亡者数が欧米の先進国等に比べて断然少ない理由を聞かれた麻生副総理は、「それは我が国の民度が世界の中で格別に高いからだだろう」と発言し話題になった。日本の感染者数や死亡者数が少ないのは事実だが、それがもっぱら民度の高さによるという麻生氏の判断には同意できないが、清潔好き、ルールを守る、政府の言うことに逆らわない、他人に迷惑を掛けることを嫌うなどの日本人の国民性が、コロナウィルスの惨禍を多少なりとも和らげている可能性はありそうだ。

ところで、そうした日本人の気質や国民性のなかには、今から数千年も前の縄文時代から、日本人が遺伝的に受け継いできたものもあるらしい。最近の研究成果によると、日本人は外見的には東アジアの中国人や朝鮮系の人たちと良く似ているが、そのDNAを調べると大陸系とは明らかな違いがあるという。

国立遺伝学研究所や国立博物館などが男性のY染色体を調べた結果、日本人には中国人や韓国人には全くないD染色体の持主が約30%含まれているという。

そしてこの染色体と同じ染色体を持つのが縄文時代の日本人だという。それは、日本国内の貝塚などから発掘された縄文人の歯のDNAを分析し、そのデータと現代の日本人のDNAを比較した結果、判明したことらしい。なお、これらのD型染色体を持っている民族は世界でも珍しく、日本以外ではチベットやアンダマン諸島にしか見られないと言われている。

また同じく最近の調査によると、縄文時代はどうやら従来考えられていたよりもはるかに進んだ文化や文明が存在する時代でもあったようだ。研究者によって多少見方は異なるが、縄文時代とは、今から4500年～1万5000年前までの間の1万年以上にわたる時代である。紀元0年から今日までが2000年ちょっとだから、縄文時代はその5倍以上にもわたるわけで、そのあまりの長さに改めて驚かされる。

縄文時代は弥生時代に近づく晩期に、一部の地域で稲作などの農業も始まっていたようだが、自然からの採集生活が基本の時代である。この時期の日本は生態系が非常に豊かで、陸域では多様な木の実などが、海浜ではさまざまな魚貝が採集され、東北の河川には毎年サケやマスが遡上するなど世界で一番豊かな採集環境に恵まれた地域であったらしい。出土品からは、栗の実を主食としながら、稲作、狩猟、近海漁業等でバラエティ豊富な食生活をしてきた事も明らかになりつつある。

縄文時代の遺跡は全国各地に存在し、貝塚だけでも2500カ所以上が確認されている。それらの遺跡や貝塚などからは籠、ザル、漆器などさまざまな出土品が見つかるが、出土品に関するユニークな特徴のひとつは、いわゆる戦いのための武器の類がほとんどないという点らしい。また、各地の遺跡で発見された人骨を調べると、諸外国ではしばしば見られる矢が突き刺さった跡のある頭蓋骨とか、肋骨に槍で刺された跡や刃跡が残っているなどの例がごくわずかしかないらしい。

山口大学と岡山大学による共同研究グループの調査結果によると、縄文時代の暴力による死亡率はわずか1.8%に過ぎず、狩猟採集文化の時代の様々な地域や時代における暴力による死亡率10数%に比べても断然低いという。

これらの事実から、縄文時代の日本はとても豊かな土地で、それ故に縄文人も戦いや争いよりは平和と安寧を好む、おおらかで温かな性格で、自己を抑制して他人を思いやる人たちでもあったようだ。

麻生総理が嬉しそうに得意げに指摘する現代日本人の民度やモラルの高さの歴史的な背景には、もしかすると数千年前の縄文人のDNAにまで遡るものがあるのかもしれない。

文化講座・講演会

新三木会

第118回 8月20日(木) 如水会館・スターホール

演題:『戦争と音楽』

講演者:片山杜秀氏 慶応義塾大学 法学部教授(政治学)音楽評論家

申込み 会場参加: 会費(受付払)2千円, 婦人千円、学生無料,
(茶話会は諸般の事情により行いません)

新三木会代表幹事 則松久夫

shinsanmokukai@gmail.com

070-6994-0137

注)コロナウイルス感染対策

入場者は間隔座席で通常の1/2

入場時の消毒 講師・司会・受付のフェイス・シールド着用

ホームページ <https://jfn.josuikai.net/circle/shinsanmokukai/>

奈良・興福寺文化講座

(第266回) 令和2年9月17日(木)

午後5時半～6時半:第一講

「興福寺中金堂四天王像の当初の所在に関する考察」

東京国立博物館学芸企画部企画課長 浅見龍介

午後6時40分～7時 ……心を静める

午後7時～8時:第二講

連続講話・「維摩経入門」 興福寺貫首 森谷英俊

会場:(学)文化学園 文化服装学院内

受講料:500円 先着200名

(JR新宿駅南口、小田急線、京王線各新宿駅から8分、都営新宿線

新宿駅3分)

事務局

<投稿>を歓迎します。

<プリント版・郵送>

メール版を編集してプリント版を月に1回発行し郵送しています。

お申込み頂ければお送りします。一応、実費として月@350円(4200円/年)をいただいておりますが、強制するものではありません。

<振込先>三井住友銀行「神田支店」(普通)7871532

(口座名)テンチシニアネットワーク

天地シニアネットワーク・テーブル・509号

発行:2020年7月15日

天地シニアネットワーク事務局 (津田 孚人)

〒116-0001 荒川区町屋3-2-

1

ライオンズプラザ町屋703

メールアドレス: tentisenior06@gmail.com

電話・FAX・03-3819-7651